

(様式 2)

「桐生市国土強靱化地域計画（骨子案）」に対する意見提出手続の結果

- 1 意見の募集期間 令和2年12月15日（火）～ 令和3年1月13日（水）
- 2 意見の提出者数 1人（郵送1人）
- 3 意見の件数 17件
- 4 担当部課 共創企画部 防災・危機管理課
電話 (0277) 46 - 1111（内線 415）
ファクシミリ (0277) 43 - 1001
電子メール bosai@city.kiryu.lg.jp

5 提出された意見の要旨と考慮の結果

「桐生市国土強靱化地域計画（骨子案）」について意見募集を行った結果、以下のとおりご意見を頂きましたので、ご意見に対する市の考え方を付して公表させていただきます。今後は、いただいたご意見を参考とさせていただいたうえで、桐生市国土強靱化地域計画の策定を進めて参ります。この度は、貴重なご意見、ご指摘をお寄せいただき誠にありがとうございました。

(1) 桐生市国土強靱化地域計画（骨子案）についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
1	・ P-1 骨子案とあるが、どの位置づけか、全く説明がない。文章中には「桐生市国土強靱化地域計画」（以下「本計画」）を策定することとしました。とあり、骨子とは言っていない。どういうことか。後付け感をすごく感じる。	主な個別施策等について調整中の部分がありましたので、計画の骨子案としました。計画の「はじめに」の文章については、計画の文案であるため、骨子案の記述はありません。
2	・ P-9 図3について、どのように作成したのか。市が作成したのか。そうであれば、作成モデルを示すべきである。引用したのであれば、引用先を示すべき。	引用先について記載しました。
3	・ P-10、11 P-9と同様	引用先について記載しました。
4	・ P-13 P-9と同様。図名が次ページに移動している。	表記がページをまたいでしまっている点について調整しました。なお、引用先の記載はあります。
5	・ P-14 県のデータを引用しているのであれば、それを示すべき。	桐生市で把握しているデータです。
6	・ P-15、16 表5が2つある。	本市における主な被害地震履歴を表4としました。
7	・ P-15、16 表5について、表が複数にわたる場合、表を分けて記述しないと、何の表なのか不明である。P-18を見ても、何の表なのか全く分からない。	表の表記について今後検討します。
8	・ P-19	表の表記について今後検討します。

	口語体と文語体が混ざっている。表名が抜けている。表が複数ページにわたる場合、表が分けて記述しないと、何の表なのか不明である。P-20 を見ても、何の表なのか全く分からない。	
9	・ P-21 口語体と文語体が混ざっている。	表記について今後検討します。
10	・ P-21 (2) で設定した 25 の起きてはならない最悪の事態ごとに、関連する現行の施策(国、県、民間事業者など市以外が取組主体となるものを含む。)の推進状況や課題等を整理し、事態の回避に向けた施策ごとの現状の脆弱性を総合的に分析・評価しました。なお、評価に当たっては、施策の進捗度や達成度を定量的に把握するため、できる限り指標を活用しました。とあるが、どこにその結果が示されているのか。それぞれの評価が“できる限り指標を活用して”示されておらず、非常に大雑把な評価結果ポイントが記述されているだけである。前半部分の記述と全く整合していない。	評価について調整中であったため、このような記述にとどまりました。
11	・ P-22 本県の強靱化を推進するためには、それぞれの実施主体が、自らの果たすべき役割に応じた取組を相互に連携を図りながら進める必要があります。とあるが、この計画は市の強靱化が目的であり、県の強靱化は県の所管ではないか。	誤記のため修正しました。
12	・ P-22 推進方針及び対応方策の決定に当たっては、(4)における脆弱性評価の結果を踏まえ、起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)ごとに次のとおり施策を検討・整理し、施策ごとに推進方針を取りまとめました。とあるが、(4)の評価は記述されておらず、不明である。また、取りまとめたとあるが、取りまとめた記述は一切ない。	主な施策及び脆弱性評価と推進方針について、計画骨子の段階で調整中であったため、このような記述にとどまりました。
13	・ P-23 この表が何を示しているのか、説明がないため、わからない。	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)ごとに検討した施策の一覧表となります。計画骨子の段階で調整中であったため、このような表記にとどまりました。
14	・ P-23 赤字で一部のみ記載とあるが、なぜ一部のみを記載としているのか。説明がない。	計画骨子の段階で調整中であったためです。
15	・ P-23 ページ番号も空欄であり、勝手に省略しており、文量も非常に少ない。これが最終版なのか。完成していないものが含まれているが、パブリックコメントに出してよいものか。	計画骨子の段階で、個別の施策については調整中であったため、掲載のイメージとして一部のみとしています。 本意見提出では、計画の骨子案として、構成、目的、事前に備えるべき目標等に限った形となります。
16	・ P-24	主な施策の脆弱性評価と推進方針についても、意

	赤字で一部のみ記載とあるが、なぜ一部のみの記載としているのか。説明がない。P-23 を見る限り、すべての評価が完了しておらず、各施策がまだ作成されていないのでは。完成しているのであれば、それを示すべきである。地域防災計画では、膨大な文量を省略していないのに、なぜこの計画では省略しているのか。	見番号 15 と同様の見解です。
17	・ P-25 調整中とはどういうことか。上記指摘のとおりに、未完成ではないか。未完成のものに、どうパブリックコメントすれば良いのか。パブリックコメントを軽視しており、この姿勢に怒りを覚える。	施策の重点化についても、意見番号 15、16 と同様の見解です。